

日本語教育実習ハンドブック

これから実習を始める人へ

－2017年度日本語教育実習（国内）報告書－

愛知県立大学日本語教員課程

目次

はじめに	p.2
1. 愛知県立大学の日本語教育実習	p.3
概要	p.3
2017 年度日本語教育実習生	p.4
2017 年度日本語教育実習年間スケジュール	p.5
2. 私たちはこうしました	p.7
はじめに	p.7
教室運営のしかた	p.8
教室活動のしかた	p.11
関係づくり	p.14
3. 教室活動案	p.17
実習生に聞いた！ 教案作成のコツ	p.20
教案作成 Q&A	p.21
4. 地域での活動	p.24
防災訓練（新聞でお皿づくり）	p.25
防災訓練（避難所クイズ）	p.26
防災訓練（展示）	p.27
TNN日本語ボランティアシンポジウム 2017	p.28
5. これから実習に取り組む後輩へのメッセージ	p.30
あとがき	p.31
2017 年度日本語教育実習生	p.32

はじめに

この冊子は、日本語教育実習の一年間の活動を記録し報告する目的のもと、実習生の手によって毎年作成されているものです。

例年 3 年生、4 年生が中心となって取り組んでいる本実習ですが、本年度も座学はもちろんのこと、地域の小学校や日本語教室、国際交流協会などの見学、ボランティアの方との合同研修や外国籍住民に向けた防災のブース出しなど、内容盛りだくさんのものとなりました。実習生一同折に触れ、さまざまなことを感じたり考えたりして、多文化共生への関心が深まるとともに、自分自身の日本語教育に対する考え方を改めて見つめなおす意義ある一年間であったと思います。

さて、冊子の作成にあたり、本年度は例年と異なる取り組みをしています。ひとつは、報告書の性格の強かった例年までのものと雰囲気を変え、実際の活動の様子や実習の雰囲気がより伝わるよう、写真や図を交えた手軽で読みやすいものにすることです。そして、もうひとつは、これから実習や地域のボランティアなどに取り組む人のために、この一年間で実習生が感じた気づきや学び、気をつけておくべきポイントや反省点などをまとめ、実習の手引きとして活用してもらえるようにすることです。恥ずかしい失敗談もたくさんあり、また初めての試みで、お見苦しいところもあるかと思いますが、日本語教育に携わる方々にとりまして少しでもお役に立てましたら幸いです。

これから実習に臨む後輩のみなさんは、悩むこと、上手くできないこと、どうしていいかわからないことなどがたくさんでてくるとと思います。そんな時、私たちの失敗や成功を参考にいただき、必要なところは改善していただいて、みなさんのベストを尽くしていただけたら嬉しいです。大変なこともありますが、多くのことを学べる実習ですので、ぜひ楽しくしっかり取り組んでください。この冊子がみなさんの学びの一助となることを心よりお祈りしています。

愛知県立大学日本語教員課程
平成 29 年度実習生一同

1. 愛知県立大学の日本語教育実習

概要

日本語教員課程について

本学の外国語学部、日本文化学部、教育福祉学部の3つの学部の学生は副専攻として日本語教員課程を履修することができます。日本語教員課程の必修単位は36単位で、全て修得すると、卒業時に「日本語教員課程修了証」が交付されます。

日本語教員課程では、簡単にいうと、「非日本語母語話者に日本語を教えること」を学びます。しかし、単純に日本語の文法を学ぶのではなく、日本にいる外国人の現状や背景、日本の外国人に対する制度など幅広い知識を身につけます。また、教育職員養成課程(以下、教職)の国語教師とは異なります。教職と日本語教員課程の両方を履修学生もいますが、両立するのはとても大変です。

日本語教育実習について

日本語教育実習を受講するためには、該当科目区分の18単位以上を取得する必要があります。該当科目区分は日本語教育学、日本語学、言語学であり、ほとんど必修科目で選択科目は少ないです。毎年20人受講していますが、希望者が多い場合は、課題と成績によって可否が判断されます。

◎実習生のオススの選択科目 ☞ 「社会言語学」、「日本の文化」
「多文化共生論」

※科目によっては集中講義でしか履修できない授業もあるので要注意 ⚠

実習は通年で行われるため、4年生で受講すると就職活動や卒業論文との両立が大変です。実習内容は、地域の日本語教室の調査、長久手市の日本語教室への参加、教室活動案作成、留学生への日本語支援、防災訓練や日本語教育等に関するイベントへの参加など、課外活動も多いです。日本語教育に関することだけでなく、多文化共生についても学びます。

2017 年度日本語教育実習生



〔写真〕 2017 年度日本語教育実習生

2017 年度の学部・学科別履修状況は以下の通りです。

外国語学部	英米学科	7 人
	国際関係学科	7 人
	ヨーロッパ学科フランス語圏専攻	3 人
	ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻	1 人
	ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻	1 人
	中国学科	1 人
日本文化学部	国語国文学科	1 人

このほか、実習先の長久手市国際交流協会ウエルカム日本語教室でボランティア活動をしている愛知淑徳大学の学生も実習のディスカッションに参加しています。

2017 年度日本語教育実習年間スケジュール

年間で行った実習で特に印象に残ったものに、難易度をつけてみました。

【前期】

- ① 地域日本語教室の調査 📅 📅
- ② 愛知県国際交流協会 リソースルーム見学 📅
- ③ グループで教室活動案作成・発表 📅 📅 📅
- ④ 豊田市保見地区の小学校見学 📅
- ⑤ 日本語教育実習 OB・OG の方々との交流会 📅
- ⑥ 長久手ボランティア教室の方々との共同研修 📅
- ⑦ ロシアでの国外実習(希望者のみ) 📅 📅 📅

落ち込みます！…が、ここで指摘されたことが、授業でとても役立ちました。

4 April	①地域の日本語教室調査	⑫ 地域日本語教室でボランティア
5 May	②愛知県国際交流協会 リソースルーム見学 ③グループで教室活動案作成・発表(～6月)	
6 June	④保見地区の小学校見学 ⑤日本語教育実習 OB/OG の方々との交流	
7 July		
8 August	⑥日本語ボランティアとの共同研修	
9 September	⑦ロシア国外実習(希望者のみ)	

準備が本当に大変でしたが、行かないと学べないことがたくさんあります！

【後期】

- ⑧ 赤十字愛知県支部のやさしい日本語での救命講座 ㇿ
- ⑨ 長久手市防災訓練の準備 ㇿ ㇿ
- ⑩ 東海日本語ネットワークの発表・準備 ㇿ ㇿ
- ⑪ 交換留学生への日本語学習支援 ㇿ ㇿ
- ⑫ 長久手の地域日本語教室でボランティア ㇿ ㇿ

授業内では終わりません！でも、地域の方に喜んでもらえて、とても達成感がありました。

10 October	⑧赤十字愛知県支部のやさしい日本語での救命講座	⑪ 留学生支援	⑫ 地域日本語教室でボランティア
11 November	⑨長久手防災訓練の準備・参加(～12月)		
12 December	⑩東海日本語ネットワークシンポジウムでの発表準備		
1 January			
2 February			
3 March			

最初は、どうしたら良いかわからず悩みましたが、最終的には、実習生も留学生も楽しめる時間を作ることができました。

2. 私たちはこうしました

はじめに

「私たちはこうしました」では、私たちが実習をやっていて悩んだこと、困ったことなどをまとめ、私たちなりの答えを出して Q&A 形式で紹介します。答えになっているものは、必ずしもこれが正解と言うわけではなくあくまで私たちの意見を述べたものですが、今後日本語教室に携わる方に少しでも参考にして頂ければ幸いです。①教室運営の仕方、②教室活動の仕方、③関係づくりの三つに焦点をあてて紹介します。

① 教室運営の仕方

- ・ 学習者のためになると活動をしたいけど、どうやって活動の内容やトピックを決めたらいいの？
- ・ 学習者が来ない！どうしたらいいの？
- ・ 実習生とボランティア同士の情報共有・連携はどうするべき？

② 教室活動の仕方

- ・ 自分が進行役じゃないとき、何をしたらいいの？
- ・ 学習者が理解してくれているか分からない... このまま進めていいの？
- ・ 学習者の日本語レベルに差がありすぎてついていけないみたい... どうしたらいいの？

③ 関係づくり

- ・ 学習者との距離感をどう縮めたらいいの？
- ・ ボランティアの方との距離感をどう縮めたらいいの？
- ・ ボランティアの方や、学習者との会話がうまくできないとき、どうしたらいいの？



ぼくたちと一緒に考えてみよう！



教室運営のしかた



学習者のためになる活動をしたいけど、
どうやって活動の内容やトピックを決め
たらいいの？



学習者に直接聞くのがいいかも。
大きなテーマだけでなく、細かく聞いてみよう！
会話の中で出た話題から興味のあるものを
を提案したり、質問をしながら取り上げるとよさそ
うなテーマを探したりもできそう！



ボランティアや実習生同士でミーティングを
してみよう！
情報共有をして活動案を考えるのも大切だよ。



授業の内容を毎回完結させるのか、
次回に続ける形にするのかも教室運営の際に
考えるべきポイントだね。
学習者の状況に合わせて考えてみよう。





実習生／ボランティア同士の情報
共有・連携はどうすべき？



manaba や SNS などを利用して、活動のレ
ポートや教材／資料を他のメンバと共有す
るといいと思う！



ミーティングを行って、実際に話して情報
共有をすることも大事だと思う。毎回の振り
返りや反省をして、次に活かせるにより良い
活動になるんじゃないかな？



参加した学習者の情報も記録して共有して
おくと、学習者との関係づくりや活動内容を
考えるときにも役立つね！





学習者が来ない！どうしたらいいの？



まず教室の存在そのものを知ってもらおう！
私たちは SNS や留学生の授業で宣伝をしたよ。
他にも、ホームページとかで宣伝したり、ポスター
を貼ったり、チラシを配ったりとか、いろんな宣伝
活動ができるね！



学習者に友達に声をかけてもらったり、
ボランティア／実習生の知り合いに声をかける
ことも効果的だと思う！直接会って話した方が
教室に参加してみようって思ってもらえるかも！



そうだね！
場合によっては、教室の場所や曜日・時間
を学習者が参加しやすいように調整すること
も必要かもね。



教室活動のしかた



自分が進行役じゃないとき、
なにをしたらいいの？
退屈だよー。



進行役でないからこそ、より集中して学習者を
気にかけてあげられるんじゃないかな。
活動についていけないと気づいたら、説明を補
うことでサポートできるはずだよ！



学習者に分からないところがあるようなら、
ほかの学習者や進行役に、
自分が質問を投げてみよう！
全体を巻き込んだ会話になったら、疑問点や
答えを共有することができると思うよ！



会話が滞ってしまったときなどに、
その場の楽しい雰囲気づくりに
貢献するのも忘れずに！





学習者が理解してくれているか
どうか分からない…
このまま進めていいの？



「分かる？」って聞くのは NG!
学習者が答えにくくなっちゃうし、
どこが分からないかはっきりと答えられない
学習者にとっては、難しい質問なんだ…



習った構文や語彙を使った質問や会話を
してみると、理解度が分かるはず！
ダメそうだったら、もう一度説明しなおしたり、
分かっている学習者の力を借りたり
するといいね。



学習者が置いてきぼりのまま
教室活動が進んでも意味がないよね。
進行役やサポーターは、学習者の様子をよ
く見ながら学習支援をしよう！





Q

学習者の日本語レベルに差がありすぎて、
ついていけない人がいるみたい…
どうしたらいいの？



A

日本語のレベルが近い学習者同士で
少人数のグループを作ったらどうかな？
きっと学習者にとって話しやすい環境に
なると思う。そのあとみんなで集まって、
話したことを共有する時間を作ると、
話がしやすいよ！



A

理解できている学習者に、理解できていない学習
者の先生役をしてもらうのもオススメ！
教える側も学んだことを自分のことばで説明すれ
ば日本語力アップにつがるし、内容を振り返れる
から、お互いにとっていいんじゃないかな？



A

それはいいね！
その時進行役やサポーターは、他の学習者に対
して積極的に質問して、発話機会を与えるように
心がけよう！一人一人が自分の考えを
話すことができる雰囲気を作ろうね。



関係づくり



学習者との距離感を
どう縮めたらいい？
遠い感じがするよ…



学習者の隣に座ってみよう。
物理的な距離から縮めてみるところから！



学習者に関連した教材などを使ってみよう！関
係したことだと自分のことについて
積極的に話してくれるかも！
例えば、主婦の方と、家電店や服屋の
チラシを使って数字の学習をしたら、
普段の買い物の場所とか、
子どもの話をしてくれたんだって！



学習者とかボランティアさんとか
意識しないで、平等に話を聞くことで
普通の会話みたいになるよ！





ボランティアの方との
距離感を縮めたい…
でも、どうしたらいいの？



活動に、深く関わりたいという意思表示を
することは、とても大切だよ!!
ボランティアの方は、学生の積極的な参
加を望んでいるよ。



日本語教室に、授業の開始よりも早く参加
して、設営の手伝いや、ボランティアの方に
挨拶をするといいよ!!
顔や名前を覚えてもらえるので、関係を築
きやすくなるよ!!



授業でわからないことや、悩んでいることを
ボランティアの方にも、相談してみよう。お
互いの意見を交換できて、関係を築けるチ
ャンスになるよ!!





学習者やボランティアの方との
会話がうまくできない…
どうしたらいいのかな？



共通の話題を、見つけることが難しいときは、知らないことを武器にしよう。様々なことを、質問することで、話題が膨らんでいくよ!!



同じ日本人でも、学生だからこそ話せる文化や、感じ方などがあるよね。だから、自分からたくさん話しかけていくと会話も弾むよ!!



学習者の趣味や、好きな食べ物など、なんでもいいのでメモして覚えておくと、話題にしやすいよ。学習者に覚えてもらえるし、喜んでくれるよ!!



3. 教育活動案

ここでは、教室活動を考える際に役に立つトピックの広げ方と要点を紹介します。今回取り上げたトピックは、「料理」と「酒」です。トピックから連想される枠組みを最初に提示し、そこから個人の経験や身近な話題、そこで使えそうな用語に広げていきます。そうすることで、最初のトピックから大きくずれることなく教案を組むことができます。前半の2ページでは、トピックの広げ方を図にしました。図に見方については下で詳しく解説します。図にはまだ余白があるので、是非書き足して使ってください。また、違うトピックでも、どのように広げていったらよいか悩んだときはこの方法を試してみてもいいのではないでしょうか。いいアイデアが思いつくかもしれません。

後半では、私たちが実習を通して学んだ、教案作成や授業展開で大切なことをまとめました。しかし、これはあくまで一つの提案であり、必ずしも「正解」というものでも、これ以外に方法がない、というものでもありません。参考程度に役立てていただけると幸いです。

図の見方

で囲んであるのがトピックです。今回は「料理」と「酒」をとりあげました。

で囲んであるのが枠組みです。

個別の具体例ではなく、「経験」「習慣」のような大きなことから始めると、後から広げやすいです。

で囲んであるのが具体例です。

ここでは、より具体的な物や店、個人の経験などをどんどん書き出していきます。

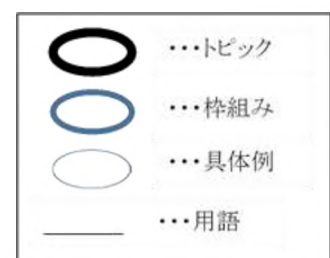
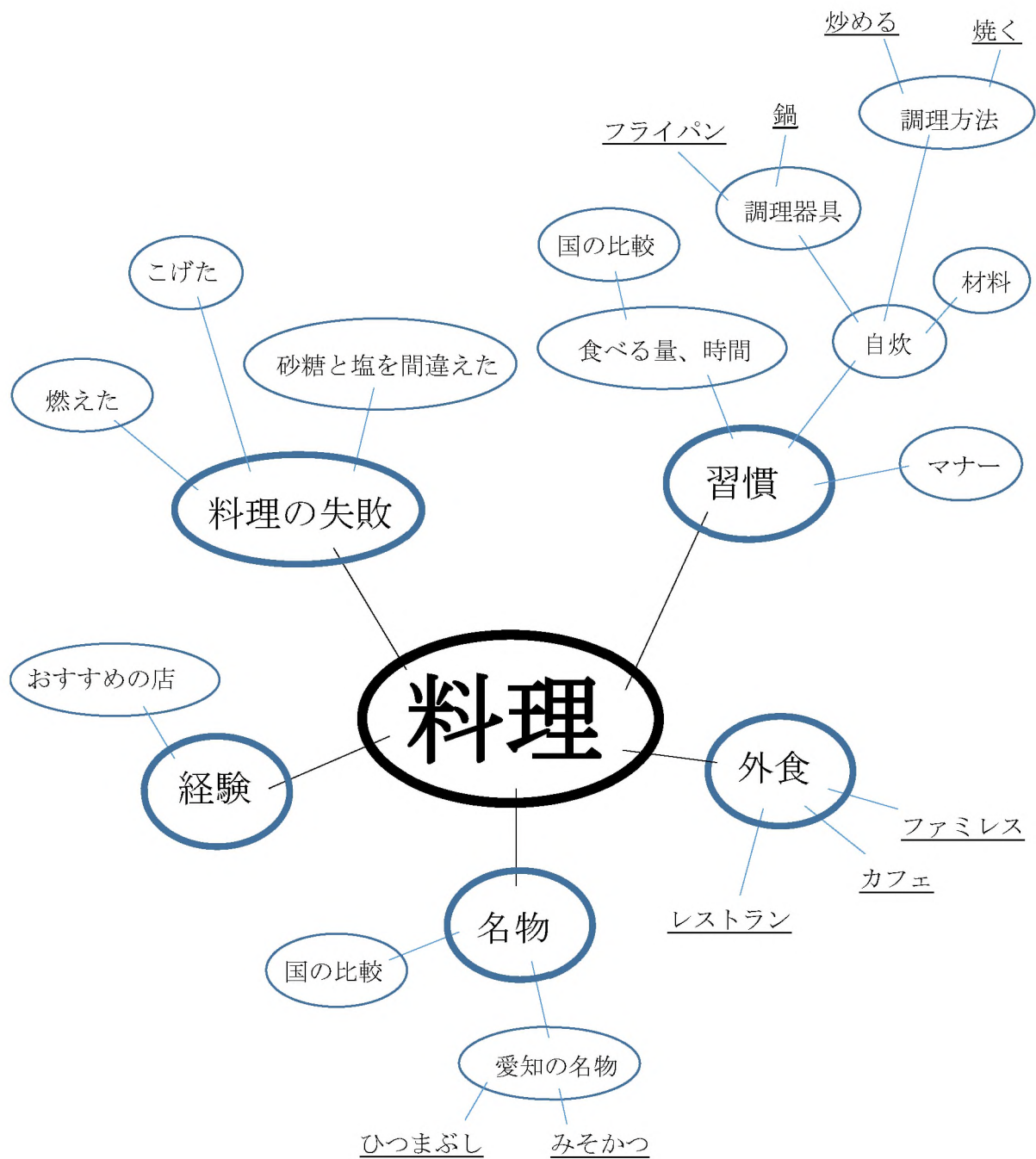
_____ が引いてあるのは語彙です。

その話をする際に必要になりそうな語彙(特に学習者が知らないと想定されるもの)を予想して書いておくと役に立つと思います。

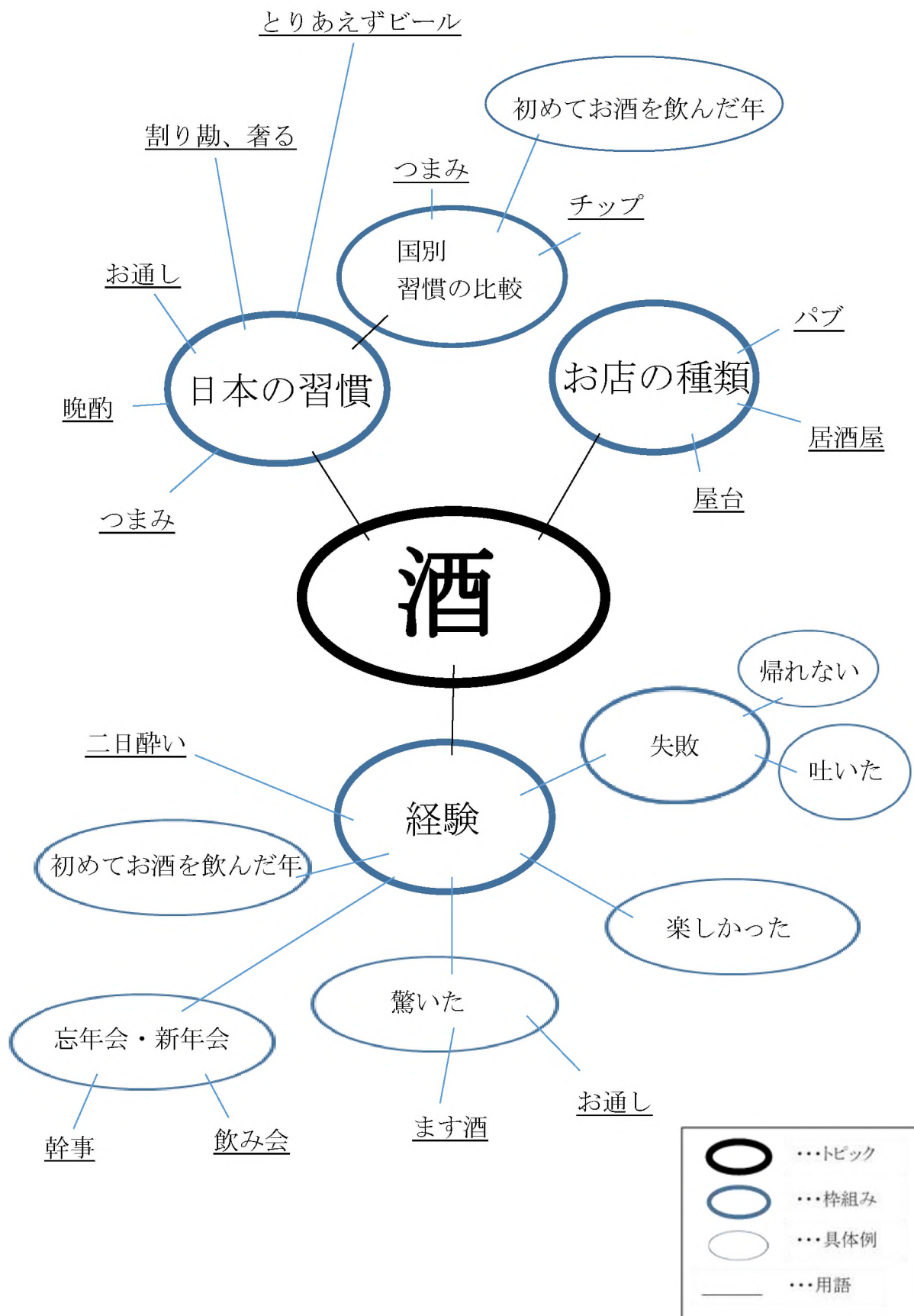
具体例や語彙は重複しても問題ありません。同じ具体例が出てきたとしても、最初のトピックからそこまで至る道のりが違うからです。

まずはたくさん書いてみると、いろいろなトピックの広げ方を発見できると思います。

例その1「料理」

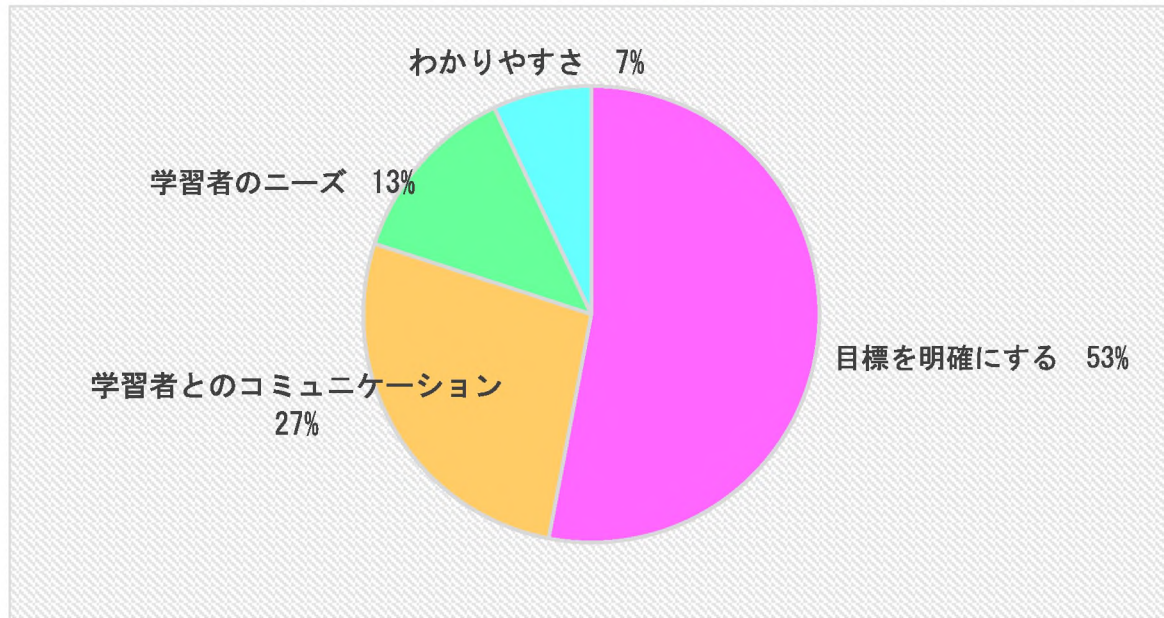


例その2 「酒」



実習生に聞いた! 教案作成のコツ

教案を作る上で最も大切にしていることは何ですか？



<目標を明確にする>

- ・学習目標を明確にします。
- ・目標を意識して教室活動案を作成し、学習内容が目標から外れないようにします。

<学習者とのコミュニケーション>

- ・例文をただなぞるだけのやり取りにしません。
- ・一方的に話すだけ、質問するだけにならないようにします。
- ・活きたコミュニケーションを取るように心がけます。そのほうが、学習者の記憶に残りやすいからです。

<学習者のニーズ>

- ・自分で決めつけず、学習者が何を本当に必要としているか考えます。
- ・その上で、学習者のニーズに応える内容にします。

<わかりやすさ>

- ・作成したレジュメに学習者に混乱を与える表現がないかを考えます。
- ・分かりづらいと予想される場所は、どう説明したら分かるか工夫します。

教案作成 Q&A

1. 教案を作る前に・・・

Q. 目標はどのように決めますか？

A. 学習目標とコミュニケーション目標の両方を明確にします。
学習者のニーズを知り、それに合わせた目標を設定します。
学習目標…習得を目指す文法事項
例)「～から、～します」
コミュニケーション目標…具体的に何ができるようになるか
例)自分の家族について話せる、道を聞くことができる

Q. 学習者のニーズを知るにはどうしたら良いですか？

A. 具体的な学習者を想定すると良いです。学習者の社会的地位や年齢が違えば、学習者を取り巻く環境が異なりますよね。学習者の生活に根付いたトピックを選ぶなど、学習者個人が本当に必要としていることは何かを考えましょう。

2. 教案作成中は・・・

Q. 教科書はどのように使いますか？

A. 教科書は大変便利ですが、参考にする程度が良いと思います。教科書の内容のみを扱うのではなく、他の教材も使いながら活動を行うと、より学習者個人に合った支援が可能になると思います。

Q. 思った通りに進むか不安です・・・

A. 教案通りに進まないこともあります。学習者の反応を複数パターン想定し、場合別に多めに作成すると安心です。学習者が難しいと感じるだろう箇所を予想し、わかりやすい図や説明を考えておくのもおすすめです。

3. 教案ができあがったら・・・

Q. 進行役になったとき、必要な準備はありますか？

A. サポーターには役割を事前に伝えておきましょう。
時間配分を確認しましょう。

Q. 授業前にやっておくことは何ですか？

A. 教案のセリフを声に出して、読み返してみましょう。不自然な日本語に気づくことができます。サポーターがいる場合には、実際にリハーサルをしてみましょう。また、時間が余った時のために、トピックに関連した質問をいくつか用意しましょう。

4. 授業が始まったら・・・

Q. 自然なコミュニケーションをとるにはどうしたら良いですか？

A. 例文をなぞるだけなど、セリフのようにしないよう心がけましょう。練習のための発話ではなく、自然体で意味のあるコミュニケーションの中で学習項目について触れられると良いです。自然体で意味のあるコミュニケーションとは、学習者個人が日常生活でそのまま使える会話のことです。例文ですと、そのまま使えることはありません。さらに、例文と比べて学習者の記憶にも残りやすいです。

Q. 単調にならないためにはどうしたら良いですか？

A. グループ→全体シェア→グループのループが目立たないように工夫しましょう。ただやらされるのではなく、学習者自身で考える機会があり、興味関心を持って取り組める授業にするにはどうしたら良いかを考えると良いです。初級は、授業初めにゲーム感覚で楽しめる活動を取り入れると良いでしょう。

Q. 一方的にならないためにはどうしたら良いですか？

A. 喋りすぎず、学習者の発話を待つことが大切です。丁寧に教えようとすると、つい説明しすぎてしまうこともあると思いますが、全体を通してなるべく進行役の発言量が少なく、反対に学習者の発言量が多くなるよう心がけましょう。

Q. 学習者の発言を増やすには？

A. 学習者全員に違う質問をしましょう。学習者と進行役で話が完結しないように、同じ話を他の学習者に振るなど、学習者同士の会話も促しましょう。

4. 地域での活動

地域住民や、日本語教育に関わっている人々でも、多文化共生の考え方はあまり浸透していないのが現状です。

私たちは学外での活動を通して、地域の人々とふれあい、少しでも外国人との関わりについて考えてもらえるようなきっかけ作りをしました。また、日本語教育に関わっている人々とも交流し、日本語教室で学習者に日本語を教え、学習者が日本語を話せるようになることだけがゴールではないということも学びました。

ここでは、そのような私たちの地域での活動について紹介します！

長久手市一斉防災訓練に参加しました！ (2017 年 11 月 19 日)

長久手市立長久手小学校と、長久手市立長久手南小学校の 2 か所でブース出展をしました。ブースでは3つの活動を行いました。

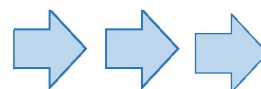
- ・新聞紙でお皿づくり
- ・避難所クイズ
- ・南海トラフ、「やさしい日本語」についての展示

あわせて、長久手小学校では日本赤十字社愛知県支部による「AED の使い方講習」、長久手南小学校では県大の交換留学生が各国の災害状況について発表を行いました。



👉 準備の様子(1 か月ほど前から準備を始めました)

それぞれの取り組みの紹介、活動の様子は次のページから！



防災訓練（新聞でお皿づくり）

内容

参加者と一緒に新聞紙でお皿作りをしました。作りながら防災の備え等について会話もしました！

幅広い世代に人気！

目的

- ・参加者と実習生、参加者同士でコミュニケーションがとれること。
 - ・災害時の知識をお互いに教え合うこと。
- ！一方的にお皿作りを教えるだけではない！

意識したこと

- ・コミュニケーションが生まれるよう会話をしながら活動することを意識しました。
- ・雑談から入って雰囲気づくりをしてから質問をしました。
- ・子どもから高齢者まで参加することを意識して、楽しみながら簡単に作ることでのお皿作りを選びました。
- ・実際に災害時に役立ててもらえるよう、紙に作り方を書いて配りました。



←小さい子も来てくれました！

→参加者に、新聞紙の他に身近なものの活用方法も聞きました。



- ☺防災訓練はただ災害に備えるためだけの行事ではなく、地域の人との交流の場にもなっていると知りました。
- ☺年齢層に合わせて話し方を変えた方が、聞き手が意味を取り間違えなかったです。
- ⑦子どもからお年寄りまで多くの方がいて、防災への関心がある人が多いことに驚きました。

防災訓練（避難所クイズ）

内容

クイズを通して避難所で言語がわからず困る状況を体験してもらい、日本に住む外国人の気持ちを知るという企画です！



2本の外国語表記がある水が入ったペットボトルを用意し、どちらが飲み水かを当てています。



目的

外国人の気持ちを体験し、やさしい日本語、やさしい対応（伝え方を変える、ジェスチャー）の大切さを知ってもらう。

意識したこと

- ・助け合いの心を持ってもらうことを意識し、そのためにどのような活動にするかを考えました。
- ・クイズのみで終わるのではなく、学びにつなげてもらうことができましたようにしました。
- ・難しい版とわかりやすい版の2種類を用意し、どこを配慮すべきかわかりやすいようにしました。

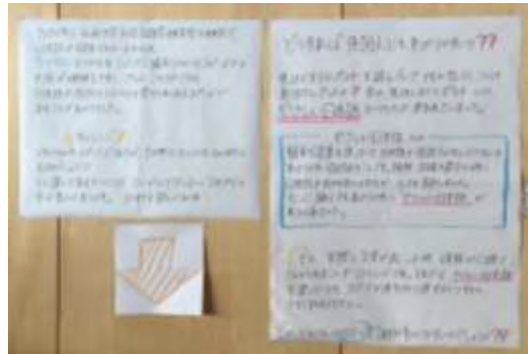
学んだこと

- ・今までの活動の中で一番広い世代の方々と交流でき、多くの新しい発見がありました。
- ・災害時に、外国人住民が周りにあふれている日本語がわからない際の気持ちを想像してもらうことができたと思いました。その状況で、絵やマークでの表示やボディランゲージを加えるという少しの工夫が、助け合うコミュニケーションに繋がることを理解していただけたのではないかと思います。

防災訓練（展示）

内容

南海トラフ地震について紹介し、地震後どう行動すべきか発表しました。
また、やさしい日本語とは何か説明し、実際に使う体験をしてもらいました。



←参加者にやさしい日本語の早さを
体験してもらっているところです。

目的

- ・やさしい日本語について知ってもらう。
- ・誰もが聞き取りやすい日本語のスピード（1分間にひらがな360文字読む程度）を体感してもらう。
- ・やさしい日本語を使うことで、外国籍住民の助けができること、助け合おうという意識が大切であることをわかってもらう。

意識したこと

- ・やさしい日本語は、外国人だけでなく、高齢者や子どもにも使えることを知ってもらえるようにしました。
- ・外国人にわかりやすく、日本人でも飽きない内容を意識して作りました。
- ・やさしい日本語の成り立ちや、どういう日本語がやさしいのかなど、相手の反応を見ながら明るく説明するようにしました。

学んだこと・感想

- ・学生として一番いい方法は何か考えながら、地域の活動に参加していくことが大切だと気がつきました。
- ・話し方や言葉の選び方一つでできることがたくさんあると実感しました。

TNN日本語ボランティアシンポジウム 2017

「やさしい日本語」使えていますか？

TNN(東海日本語ネットワーク)とは

東海 4 県(愛知・三重・岐阜・静岡)で活動している日本語教室、日本語ボランティアのネットワークを目的として活動している団体です。

「日本語ボランティアシンポジウム」の目的

- ・地域日本語教室の活動を改めて見直すこと。
- ・学習者にとっての「やさしい日本語」とはどんなものかを考えること。

概要

午前：それぞれの日本語教室による活動紹介

私たちは日本語教員課程のブースを出しました！



発表の目的

日本語教育実習の活動を知ってもらおう！

- ▷ 前期、後期の活動や防災訓練、留学生支援についての紹介。

(写真左上のパネル)

実習を通じた自分たちの悩みを伝え、参加者からフィードバックをもらおう！

- ▷ 学習者とうまく雑談するには？など

(写真下の紙にコメントを書いたふせんを貼ってもらいました。)

午後：様々な場面で繰り広げられる「あるある」コントをもとに「やさしい日本語」について考えました。

実習生のシンポジウムでの学び

自分達の発表から学んだこと

- ・学生ならではの活動や視点を発信でき、参加者とたくさん意見交換できました。
- ・発表の最後に、活動をする上での自分たちの悩みについてアドバイスをもらう時間を設けたことで、参加者にも考えてもらう機会を作れました。また、自分たちも新しい考えを得ることができました。

- ・防災に関する活動について興味を持っていただいて、自分たちの活動が地域の日本語教室にとって参考になったらいいなと思いました。
- ・一見関係の無さそうな留学生支援も地域の活動と共通する悩みがあり、解決策を考える事が双方に役立つと分かりました。

全体(他の人の発表)から学んだこと

- ・自分の知らなかった様々な活動を知ることができました。
- ・学習者と日本語教室のみでつながりを持つだけでなく、一緒に地域のイベントに参加することで、学習者と地域住民をつなげることができると思いました。
- ・「やさしい日本語」について知っているだけでなく、外国人に対して実際に使う力が重要だと痛感しました。
- ・「やさしい日本語」の使い方について改めて考えることができました！
- ・人数に合わせた、それでいて学習者のニーズをくみ取る教室活動作りの難しさを感じました。



↑ 実習生の発表の様子



↑ ほかの団体の活動の様子も学ぶことができました！

5. これから実習に取り組む後輩へのメッセージ

施設見学や学校見学、防災訓練、シンポジウムへの参加など、貴重な体験ができます！

様々な国籍、年齢、立場の人と関わる中で多様な考え方や価値観を知り、人との関わり方を見つめなおす良いきっかけになります。

実習は授業！という堅苦しい感じではなく、自分の考えを広げる場所で、考え次第でどんどん変わる自由な雰囲気です！

実習生は学部学科も様々でしたが、授業中の意見交換も授業外の雑談もとても楽しかったです！

4年生だと特に、就活や卒論と並行しなければならず大変ですが、学べることは多いです。

グループ作業がたびたび出てきますが、受け身にはならないで、積極的に参加して楽しんでください。

座学では学べない、本当の多文化共生について学べたと思います。

毎週の授業だけではなく、授業外に集まって話し合いをしたり、何かを作ったりする時間が多いので大変とを感じるかもしれませんが、他の学科やあまり話したことがなかった人たちと仲良くなれるのでとても楽しかったです。

地域のボランティアの方や、留学生と仲良くなれます。ぜひ国外実習にもチャレンジしてみてください！

あとがき

まず初めに、最後まで目を通していただき、ありがとうございました。

この冊子の作成にあたって、改めて実習全体を振り返ることで、私たちは想像以上の
学びを得ることができていたと気づくことができました。

また、実習報告書から報告書の性格を薄め、読みやすいものにする工夫など
今年日本語教育実習を履修している私たちにはしかできないこと、
私たちらしさを最後まで大切にすることができたことを、誇らしく感じていると同時に、
それを受け入れてくださった周囲の皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。

まえがきでも述べましたが、私たち実習生の1年間の経験や、
それを通じて感じたことをまとめたこの冊子が、日本語教育に興味のある方や、
日本語教育実習を取ろうと考えている後輩たちの道しるべの一つとなれば幸いです。

最後になってしまいましたが、楽しく厳しい指導をしてくださった宮谷先生、東先生
いつも私たちの授業をサポートしてくださったSAのみなさん
私たちをあたたく受け入れてくださった長久手市国際交流協会の皆様
私たちが最後まで実習を続けられたのは、皆様のおかげです。

本当にありがとうございました。



2017 年度日本語教育実習生

岡 奈菜美	外国語学部英米学科 4 年
須賀 綾子	外国語学部英米学科 4 年
成田 彩夏	外国語学部英米学科 4 年
藤田 奈波	外国語学部英米学科 4 年
村木 愛	外国語学部英米学科 4 年
加藤 志真	外国語学部英米学科 4 年
松岡 咲季	外国語学部英米学科 4 年
松井 美希	外国語学部ヨーロッパ学科フランス語圏専攻 4 年
小澤 茉季	外国語学部ヨーロッパ学科フランス語圏専攻 4 年
手塚 夏帆	外国語学部ヨーロッパ学科フランス語圏専攻 4 年
簾内 亜里沙	外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 4 年
後藤 嘉子	外国語学部ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻 4 年
戸塚 菜水	外国語学部中国学科 4 年
飯沼 佳菜子	外国語学部国際関係学科 4 年
齋藤 陽奈子	外国語学部国際関係学科 4 年
中村 茉穂	外国語学部国際関係学科 4 年
山本 紗矢	外国語学部国際関係学科 4 年
鈴木 明音	外国語学部国際関係学科 4 年
椿井 比奈子	外国語学部国際関係学科 4 年
杉浦 美咲	日本文化学部国語国文学科 3 年
松澤 実紀	外国語学部国際関係学科 3 年
土屋陽太	愛知淑徳大学 4 年（ウエルカム日本語教室ボランティア）

2017 年度日本語教育実習（国内）報告書

日本語教育実習ハンドブック これから実習を始める人へ

執筆 2017 年度日本語教育実習履修生一同

編集補助 宮谷敦美・東弘子（日本語教員課程担当）

発行 愛知県立大学日本語教員課程

〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3 愛知県立大学

e-mail nihongo@for.aichi-pu.ac.jp